

介護保険実務 ～制度と運用～

平成12年の施行以来、介護保険制度は時代の要請に応じて改正を重ねながら運用されています。この研修では、その成り立ちと制度の意義を改めて学んだうえで、制度全般についての理解を深めるとともに、先進事例や演習等により、地域の実情や時代のニーズに応じた介護保険の施策を企画立案できる能力の養成を図ります。

特に今年度は第9期介護保険事業計画策定年度に当たっていることから、班別演習では各種データを活用した施策立案を念頭に、PDCAサイクルやロジックモデルの作成に取り組み、柔軟に見直し・改善を行いながら着実に施策を実現していくための方策について考えていきます。

研修の ポイント

- 介護保険制度の意義と改正の経緯を学ぶ。
- 介護保険事業計画の動向を踏まえ、今後の自治体のあり方を考える。
- 先進事例等市町村の取組を学び、介護保険制度の持続可能性を探る。

開催要領

日程	令和5年10月23日(月)～10月27日(金) (5日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	介護保険事務や地域での介護相談などに携わる市区町村等の職員 5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
募集人数	50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	17,450円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和5年9月7日(木)まで
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。 [Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)に掲載しております。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年
10月
23日(月)

11:00~
12:00 **入寮受付・昼食**
12:30~ **開講・オリエンテーション**

13:00~
15:45 **講義 介護保険制度と地域包括ケアシステムの理念・基本方針・変遷**

日本社会事業大学専門職大学院 客員教授 元厚生労働事務次官 **蒲原 基道 氏**
介護保険制度の創設から現在の地域包括ケアシステムに至るまでの、制度の理念、考え方、改正を重ねてきた背景、今後の展望などについてご講義をいただきます。

16:00~
17:00 **演習 意見交換会**

各自自治体が持ち寄った課題等について、班ごとに分かれ、アイスブレイクを兼ねた討議を行います。

17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和5年
10月
24日(火)

9:25~
12:00 **講義 介護保険制度における市町村の役割**

岐阜県大垣市健康福祉部 部長 **篠田 浩 氏**
介護保険制度において、その運営主体である市町村に求められる役割について、ご講義いただきます。

13:00~
15:35 **講義 第9期介護保険事業計画をむかえるにあたってのポイントと今後の動向**

厚生労働省老健局総務課 課長補佐 **菊池 一 氏**
厚生労働省老健局介護保険計画課 主事 **森西 カンナ 氏**
第9期介護保険事業計画をむかえるにあたっての市町村における具体的な業務やポイントについて、また、おおよその今後の動向についてご講義いただきます。

15:50~
17:00 **講義 ケアプラン点検の手法**

東京都武蔵野市地域支援課 在宅医療・介護連携推進担当係長 **金丸 絵里 氏**
ケアプラン点検は、給付の適正化を図るだけではなく、自立支援に資するケアマネジメントとなっているかといった視点も必要不可欠です。ケアプラン点検の大切さやポイント等についてご講義いただきます。

令和5年
10月
25日(水)

9:00~
10:30 **講義 要介護認定の適正化・効率化**

社会福祉法人流山市社会福祉協議会 事務局長 兼 在宅サービス課長 **早川 仁 氏**
要介護認定の意義、適正な審査会のフロー、適正な審査判定のための認定調査の実施・主治医意見書の作成等について、また要介護認定の簡素化についてのメリットや導入後の状況など、具体的な事例を交えてお話しいただきます。

10:45~
12:00 **講義 指導監督の実務**

厚生労働省老健局総務課介護保険指導室 室長補佐 **細谷 光市 氏**
施設・事業所への指導監督の実施は、介護保険給付の適正化において重要な業務です。その手法や、運営指導の標準化等について、お話しいただきます。

13:00~
15:35 **講義 地域包括ケア・地域共生社会を実現するための政策形成プロセス**

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構
政策推進部 副部長 兼 研究部 主席研究員 **服部 真治 氏**
地域包括ケア・地域共生社会を地域で実現するために自治体としてどのように取り組んでいくのか、その考え方等についてご講義いただきます。また、演習の導入として、各種データの活用法やPDCAサイクル・評価のためのロジックモデルの作成方法、さらには施策の見直し・改善を行う手法について解説いただき、課題の明確化、施策を着実に実現する方策等について学びます。

15:50~
17:00 **演習 班別討議**

服部 真治 氏
班に分かれ、PDCAサイクルやロジックモデルを用いながら、地域共生社会の実現に向けて取り組むべき施策について検討します。

令和5年
10月
26日(木)

9:25~
10:35 **事例紹介 認知症の方の本人視点と地域包括システム**

和歌山県御坊市 市民福祉部 介護福祉課 主事 **岡本 大輝 氏**
認知症のある本人の視点や声を重視し、認知症の人とともに築く、誰もが活躍できるまちづくりに取り組んできた認知症施策の事例についてお話しいただきます。

10:50~
12:00 **事例紹介 官民連携介護予防事業 「ずっと元気! プロジェクト」**

愛知県豊田市企画政策部 未来都市推進課 主査 **前田 有紀 氏**
新しい官民連携の仕組み「SIB:ソーシャルインパクトボンド」を活用した介護予防事業「ずっと元気!プロジェクト」の取組をご紹介します。様々な民間企業やNPOが「社会参加」をキーワードに様々なサービスを提供する取組です。

13:00~
17:00 **演習 班別討議**

服部 真治 氏
前日に引き続き、班別討議を行います。

令和5年
10月
27日(金)

9:25~
14:10 **演習 発表・講評**

服部 真治 氏
前日までに討議した内容を発表し、共有します。最後に講師から講評いただき、研修のまとめを行います。

14:10~
14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。